

議会 ながのはらまち だより

2022
APRIL
4
No.131

2月臨時会や3月定例会の内容をお伝えします



表紙：北軽井沢小学校卒業式

令和4年3月24日（木）に長野原町内の小学校で卒業式が行われ、卒業生たちは、涙と笑顔で学び舎に別れを告げました。今年の町内小・中学校の卒業生は、小学校35名、中学校40名でした。



QRコードから議会
だよりをダウンロード
できます

2月臨時会と3月定例会で こんなことが決まりました

○ 2月臨時会 (会期2/15)

専決処分	2件
補正予算	1件
その他	1件
<hr/>		
合計	4件

主なものを当誌より掲載します。

○ 3月定例会 (会期3/2-16)

発議	1件
人事案件	4件
条例制定・改正	6件
補正予算	8件
当初予算	11件
その他	2件
<hr/>		
合計	32件

■ 未就学児 1人に係る均等割額 (年額)

	改正前		改正後
7割軽減世帯	11,700円	➡	5,850円
5割軽減世帯	19,500円	➡	9,750円
2割軽減世帯	31,200円	➡	15,600円
上記以外の世帯	39,000円	➡	19,500円

全世代型社会保障制度を構築するため健康保険法等の一部が改正されたことにより、町の国民健康保険税条例の一部を改正しました。

主な改正内容は、子育て世代の経済的負担軽減を図るため、国民健康保険に加入している未就学児にかかる均等割保険料の2分の1を公費により軽減するものです。

条例改正

子どもの 国保税分を軽減

未就学児とは？

⇒ 6歳に達する日以降の最初の3月31日以前である者。

■ 2月臨時会で可決した議案一覧

議案番号	議案名	内容	関連
承認 1号 2号	専決処分の承認	令和3年度の一般会計を補正するもの。	6-7
議案	1号	財産の無償譲渡（光ファイバケーブル設備等）	東日本電信電話（株）に光ファイバケーブル設備等を無償譲渡するもの。
	2号	令和3年度一般会計補正予算	令和3年度の一般会計を補正するもの。

■ 3月定例会で可決した議案一覧

議案番号	議案名	内容	関連
同意 1号 3号	固定資産評価審査委員会委員の選任同意	委員の任期満了に伴い、一場氏（新任）・亀井氏（新任）・小林氏（再任）の選任について同意を求めるもの。	4
諮問 1号	人権擁護委員候補者の推薦	委員の任期満了に伴い、浅井氏（新任・北軽井沢）を適任として承認を求めるもの。	4
議案	1号	群馬県市町村総合事務組合規約の変更に 関する協議	組織団体の名称変更、退職手当支給事務手続きについて所要の整備を行うため協議が必要となったもの。
	2号	群馬県市町村公平委員会を共同設置する 地方公共団体の数の増加及び規約の変更	館林市が事務の共同処理に加わることに伴い協議が必要となったもの。
	3号	課設置条例等の一部改正	ハッ場ダム建設等事業の完了に伴い組織機構体制の改革が必要となり改正するもの。
	4号	消防団員の定数、任免、給与、服務等に 関する条例の一部改正	消防庁からの通達により非常勤消防団員の費用弁償に係る基準の見直しに伴い改正するもの。
	5号	職員の給与に関する条例の一部改正	医療職給料表に4級を創設するもの。
	6号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正	国家公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い改正するもの。
	7号	国民健康保険税条例の一部改正	健康保険法等の改正に伴い改正するもの。
	8号	小口資金融資促進条例の一部改正	中小企業者の返済負担軽減のため借換制度を引き続き継続し資金繰りを支援するため一部改正するもの。
	9号 16号	令和3年度一般会計・7特別会計補正予算	令和3年度一般会計予算や国民健康保険など7特別会計予算を補正するもの。
	17号 27号	令和4年度一般会計・8特別会計・ 2事業会計予算	令和4年度の各会計予算を定めるもの。
発議案 1号	ロシアのウクライナ侵攻に対し厳重に 抗議する決議について	当該決議書について関係機関へ提出するもの。	4

人事案件

各行政委員を選任

固定資産評価審査委員会委員と人権擁護委員の任期満了に伴い左表のとおり任命同意などをしました。

固定資産評価審査委員会委員として2期6年にわたり活躍された山口次夫氏と4期12年にわたり活躍された丸山富三氏は退任となり、後任にそれぞれ一場茂樹氏と亀井一氏が適任と承認しました。

また、人権擁護委員には、今期限りで退任となる浅井美代子氏の後任として、浅井有子氏を適任と承認しました。

(1) 固定資産評価審査委員会委員（敬称略）

氏名	地区	備考
一場 茂樹	羽根尾	新任
亀井 信一	応桑	新任
小林 寛	林	再任（2期目）

(2) 人権擁護委員（敬称略）

氏名	地区	備考
浅井 有子	北軽井沢	新任

発議

ロシア軍が即時にウクライナから撤退することを強く求める

2月24日から開始されたロシア軍によるウクライナへの軍事侵攻によって、幼い子どもを含む多数の一般市民が犠牲となる報道には、憂慮に堪えない。そして、ウクライナの主権及び領土の一体性を著しく侵害し、武力の行使を禁ずる国連憲章の重大な違反であり、力による一方的な現状変更を認めないという国際秩序の根幹を揺るがす極めて深刻な事態で、断じて許されず、厳しく非難する。

私たち長野原町議会は、ロシア軍による攻撃やウクライナの主権侵害に強く抗議するとともに、世界の恒久平和の実現に向け、ロシア軍が即時にウクライナから撤退することを強く求めるもの。

採決の結果、全員賛成で可決し関係機関へ決議書を提出しました。

条例改正

消防団員の処遇改善



消防庁による非常勤消防団員の報酬等の基準の制定を踏まえ、消防団員の処遇改善を図るため新たな報酬額を定めるものです。

現行

水火災及び遭難救助の場合
1回につき1,800円

改正後

水火災及び警戒、遭難救助の場合
(1) 4時間未満出動、
1日につき 4,000円
(2) 4時間以上出動、
1日につき 8,000円

※ 1回の出動に対し発報から解散まで4時間以上かつ日をまたぐときは2日の出動とする。



議会全員協議会の内容を紹介します

報告事項

3月定例会で行われた議会全員協議会の主な内容は下記のとおりです。

●新型コロナウイルス感染症に対する対応について

新型コロナワクチン追加接種（3回目）の進捗状況や11歳以下のワクチン接種について説明を受けました。質問は、11歳以下の希望調査の結果などについて行われました。

●坪井福祉住宅グループホームについて

3月25日に改修工事が完了し、その後体験入所などが実施されると説明を受けました。質問は、定員や希望人数、施設の拡充などについて行われました。



●町バイオマス産業都市構想策定の経過について

構想策定を目指し3度の策定委員会を開催し検討を重ね、令和3年度内に素案完成を目指し進めると説明を受けました。質問は、バイオマス資源が継続的に確保できるかなどについて行われました。

●学校統合と空き校舎の利活用について

浅間小となる西中学校の改修スケジュールや空き校舎の利活用などについて説明を受けました。質問は、空き校舎の利活用において町民の意見を反映できる体制確保などについて行われました。



条例改正

未来の町づくりのために

ハッ場ダム建設工事等事業の完了に伴い、今後の重要施策を進めるため未来ビジョン推進課の新設など組織機構体制を改正するものです。新たな組織体制は下表のとおりです。

旧課名等	新課名等	主な業務
企画政策課 ダム対策課 産業課 観光商工係	未来ビジョン推進課 水源地域振興係 観光商工係	移住、定住、ジオパーク、 フィルムコミッション、浅間園、 ハッ場ダム、観光、商工に関すること。
産業課 農林係	農林課 農林係	農林道、農林業に関すること。

一般会計

学校統合に向け整備基金の
積立など可決する

一般会計補正額一覧（千円以下切捨）

■ 2月臨時会（2/15）

- 一般会計補正予算（第7号）〔専決処分〕
3,500万円増額（計44億9,214万円）
- 一般会計補正予算（第8号）〔専決処分〕
1億5,375万円増額（計46億4,589万円）
- 一般会計補正予算（第9号）
1,825万円増額（計46億6,414万円）

■ 3月定例会（3/2）

- 一般会計補正予算（第10号）
3億669万円増額（計49億7,084万円）



〔補正による主な事業〕



5,635万円

地域活性化商品券支給事業

1月1日現在、町に住民登録のある方1人あたり1万円の商品券を配付する。



100万円

各種予防事業

抗原検査キット500セット購入するもの。

■ 表 特別会計補正予算一覧（3月定例会）

特別会計	補正額	補正後総額
国民健康保険	△38万円	7億3,601万円
へき地診療所	80万円	9,889万円
簡易水道事業	△1,002万円	1億3,985万円
農業集落排水事業	△689万円	9,672万円
公共下水道事業	△627万円	7,438万円
介護保険	△2,516万円	6億6,111万円
浄化槽整備事業	△14万円	512万円

（千円以下切捨）



質疑応答

西吾妻福祉病院組合
旧六合村分の負担金
は

問

牧山議員 西吾妻
福祉病院組合旧六
合村分の負担金につい
て、全額減額補正をして
いるが、決着はついたの
か。

今年度、11件の利用

答

町民生活課長 手
摺りやお風呂の改
修で今年度11件89万円の
実績となっている。
コロナを機に事業の
見直しを

合意、今後支払いな
い

答

町民生活課長 中
之条町と交渉し、
合意に至ったため今後支
払いはない。

居宅介護住宅改修費
の利用状況は

問

大羽賀議員 居宅
介護住宅改修費に
ついて、近年、居宅で介
護する人が多いと思っ
たが、利用状況はどうか。

答

総務課長 施政方
針に基づき、町民
に必要なもの、役立つ事
業を精査した上で進めて
いきたい。

事業を精査し実施

問

梶野議員 毎年同
じような形で事業
を実施しても、コロナの
状況次第では成り立たな
いため、これを機に事業
の開催方法などを見直し
てはどうか。

令和3年度末現在

町の基金状況

基金は特定の目的で条例により設置することができる資金や
財産のことです。

令和3年度末の主な基金状況は下表のとおりとなっています。

令和3年度末の主な基金状況（千円以下切捨）

基金名	増減	残高
財政調整基金	2億3,462万円	28億5,875万円
多目的基金	1,579万円	1億6,268万円
減債基金	1,831万円	6億9,810万円
八ッ場ダム周辺整備事業施設管理基金	0円	22億5,269万円
教育施設等整備基金	3億17万円	3億2,619万円

主な“基金”の目的は？

- 財政調整基金
災害復旧やその他財源不足などへ充てる積立基金
- 多目的基金
一般行政に必要な施設の整備、農業や観光振興事業などの必要資金に充てる基金
- 減債基金
町債償還（借金返済）へ充てるための基金
- 八ッ場ダム周辺整備事業施設管理基金
ダム関連施設の維持管理に充てるための基金
- 教育施設等整備基金
教育・文化施設整備等の推進に必要な資金に充てるための基金

産業建設

町道6-16号線 拡幅

2月末日までに受理された陳情1件は、3月議会定例会（2日）に所管の常任委員会へ付託・審議されました。

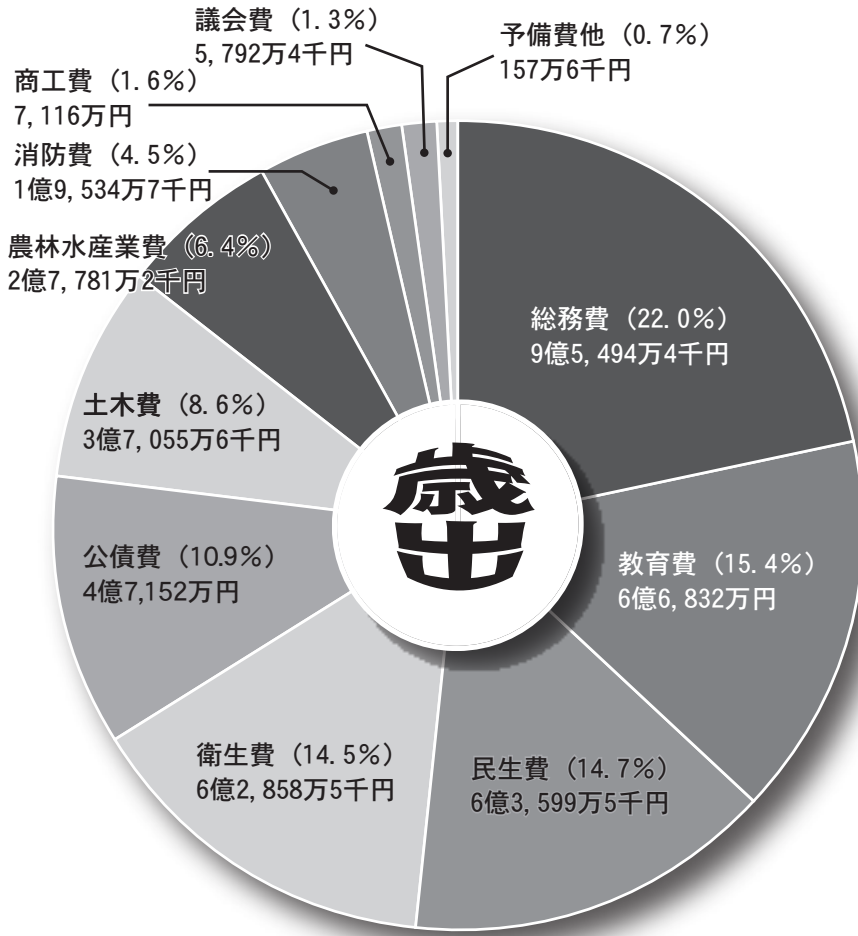


請願・陳情の審査結果一覧

受理番号	件名	提出者	内容	結果
1号	草木原地区町道6-16号線の拡幅について	大津区長 嶋村 明	町道6-16号線の拡幅を求めるもの	採択

予算

一般会計歳出



一般会計

希望をもって暮らしていける
生きる力を育む町へ

令和4年度一般会計当初予算

43億3,373万9千円

前年度より2億4,043万6千円(増)

3月9日定例会2日目に、令和4年度各会計予算を可決しました。今回可決となった一般会計当初予算は約43億円。予算使途が限定される8特別会計や水道関連2事業会計は、約20億円となっています。町では

「希望をもって暮らしていける生きる力を育む町へ」のロードマップを実現するための予算となっています。

町長施政方針の8つの目標

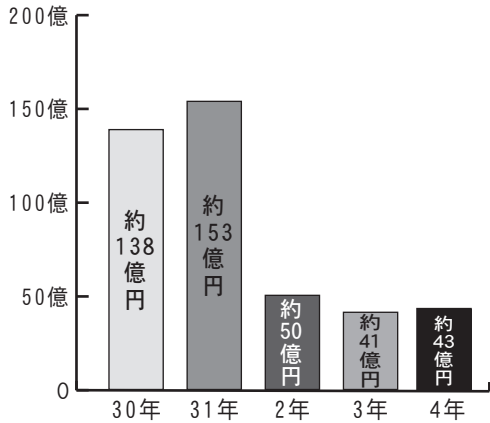
8つの目標

- 一、まちづくりに必要な交通対策
- 二、情報格差の解消
- 三、災害に強いまちづくり
- 四、学校統合と空き校舎の活用
- 五、農林福連携から始めるバイオマス産業都市構想
- 六、デジタル化の推進
- 七、新たな観光スタイルの発信と教育旅行の誘致
- 八、希望をもって暮らしていける地域づくり

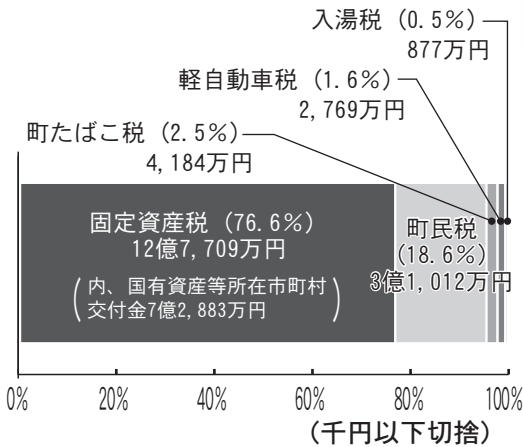


町長施政方針

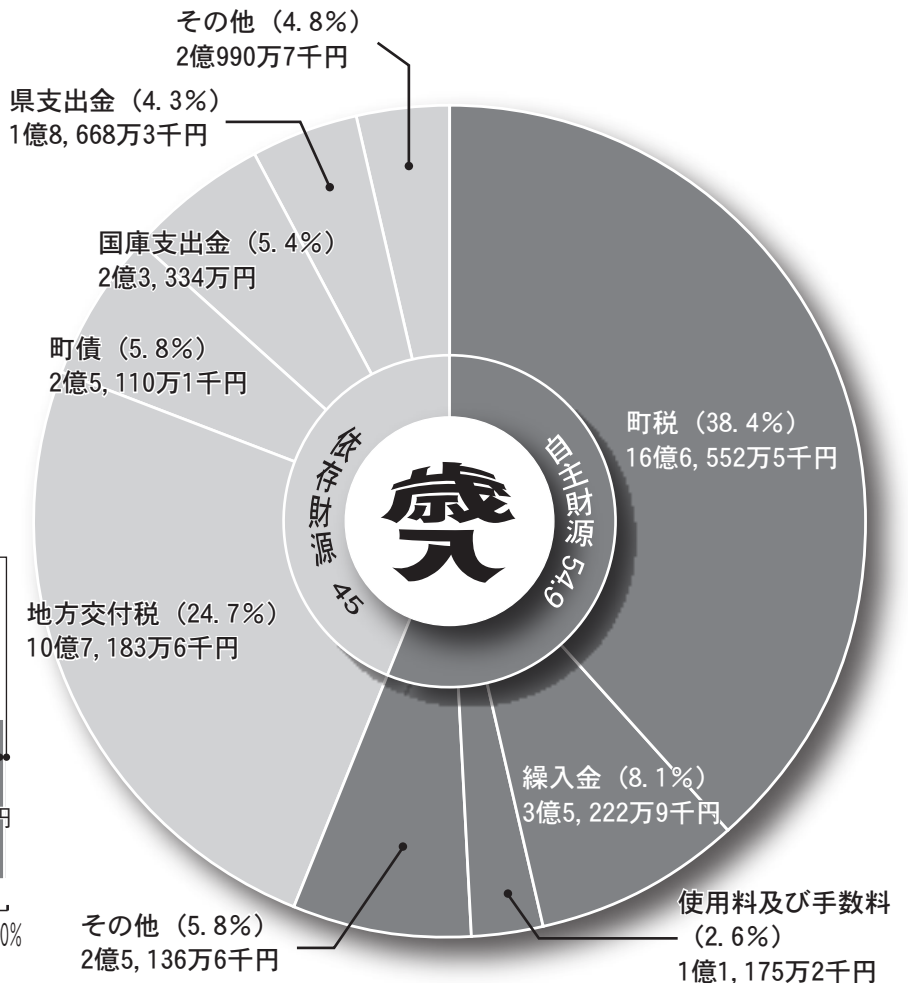
■ 一般会計予算推移（概数）



■ 令和4年度町税の内訳



一般会計歳入



※項目ごとに表示しているため、合計金額及び構成比率に差異が生じる場合があります。

特別会計

■ 令和4年度各特別会計当初予算

特別会計名	予算額	前年度比
国民健康保険	7億3,086万2千円	101.2%
へき地診療所	9,559万3千円	105.9%
簡易水道事業	1億1,578万円	123.6%
農業集落排水事業	1億27万9千円	96.7%
公共下水道事業	7,886万8千円	97.7%
介護保険	6億7,770万7千円	101.3%
後期高齢者医療	9,940万9千円	108.9%
浄化槽整備事業	535万8千円	101.8%
合計	19億385万6千円	102.6%

■ 令和4年度各企業会計当初予算

企業会計名	予算額	前年度比
浅間高原水道	収益的収入	4,721万4千円 99.9%
	収益的支出	4,721万4千円 99.9%
	資本的支出	2,897万3千円 108.1%
北軽井沢簡易水道	収益的収入	7,084万6千円 99.9%
	収益的支出	7,084万6千円 99.9%
	資本的収入	66万7千円 36.3%
	資本的支出	3,291万5千円 117.0%

町 令和4年度 の主な事業



令和4年度の主な事業を一部紹介します。

一般会計当初予算は「明るく活力のある町づくり」を実現させるため、交通対策や農林福連携事業など様々な事業を予定しています。

(千円以下切捨)



① バイオマス産業都市構想事業

(事業費：523万円)

木質や家畜排せつ物、食物残渣などを地域内で収集、運搬、製造、利用まで経済性が確保された一環システム構築などを行います。

② 資源化ゴミ回収事業

(事業費：188万円)

各地区に資源化ゴミ回収ボックスを設置し、プラスチックゴミ、陶器類、ビン類などの分別を強化し、分別(リサイクル)を進めていきます。



③ 町アプリ制作事業

(事業費：2,818万円)

日々の生活に必要な情報を簡単に確認できる暮らしに役立つアプリ制作などを行います。



④ 暮らしのハンドブック作成事業

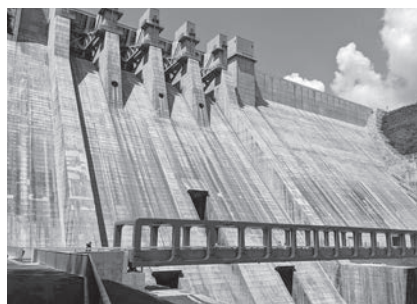
(事業費：114万円)

(一社)つなぐカンパニーなのはらと連携し、町民の暮らしに役立つハンドブックを作成します。

⑤ ハツ場ダム完成記念イベント事業

(事業費：485万円)

ハツ場ダム完成の記念イベントを実施します。



⑥ 番号カード普及促進事業

(事業費：4,698万円)

マイナンバーカード普及促進のため、マイナンバーカードを既にお持ちの方及び新規で取得された方に商品券1人1万円を交付します。

ここが知りたい!

一般質問

質問者	質問内容	ページ
浅沼 克行 議員	高齢者の交通対策について	12
星河 明彦 議員	施政方針について	13
大羽賀 進 議員	高齢者支援の拡充について	14
牧山 明 議員	バイオマス産業都市構想に食料・エネルギーの自給と、素晴らしい環境は未来の子ども達への贈物だという基本哲学を盛り込むべき	15

※紙面の都合により要約・省略などの編集を行っておりますのでご了承ください。

議会傍聴のご案内

あなたも議会を傍聴しませんか？

議会定例会や臨時会の様子はどなたでも傍聴できます。（本会議前に開催される全員協議会も傍聴可能となりました。）傍聴される際は議会開催日に議場までお越しいただき、受付票に必須事項を記入、受付箱に投函して傍聴をお願い致します。なお、開会時間は開催日より異なり「くらしのカレンダー」などで掲載している日程も変更となる場合があります。

現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用、手指消毒、検温、傍聴人数の制限の協力をお願いしております。

また、平熱を上回る発熱のある方、体調のすぐれない方、せき、くしゃみの症状のある方には、傍聴をご遠慮いただいております。ご不明な点は、長野原町議会事務局（☎0279-82-3019）までお問合せください。

-議会開催予定-

令和4年5月

臨時会

12日（木）

令和4年6月

定例会

7日（火）

17日（金）

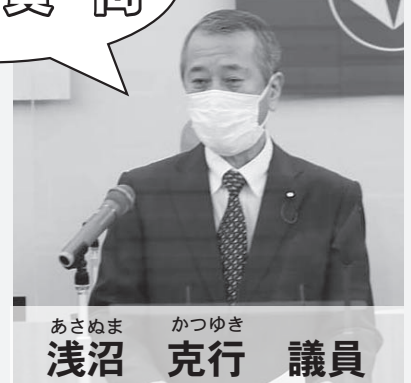
YouTubeで議会の様子を録画配信中!

令和2年12月以降の定例会一般質問の様子をインターネット配信しています。

視聴方法

○長野原町役場ホームページのトップページから「長野原町議会」⇒「動画配信」
(<https://www.town.naganohara.gunma.jp/www/index.html>)





あさぬま 浅沼 かつゆき 議員



高齢者の交通対策について

新たな地域公共交通を 検討していく

問

町長就任以来、外出支援バスの新設、福祉バスの拡充等、交通弱者に対する対策を打ち出しており、高齢者の方などから好評を得ていると思うが、利用している方の話を聞くと、色々な面で不自由を感じている。高齢化社会が進む中、拡充する必要があると思うが、町長の考えを伺いたい。

答

町長 本町では高齢者の交通対策として、通院のための支援として福祉バスを、買い物等の支援として外出支援バスを運行している。今年度、増便して利用者数も増加しているが、まだ運行経路等改善の必要

問

があると考えている。今後、高齢者以外も含めた交通弱者目線でのニーズを洗い出し、新たな地域公共交通を検討していく。

施政方針で8つの目標を掲げ、そのトップにまちづくりに必要な交通対策をうたっている。交通弱者に対する交通対策や福祉バスなどの拡充をしていくとともに町には、路線バス会社が2社、タクシー会社が2社あるの、民間業者との連携を強め進めてもらいたい。

また、学校統合が進むことによりスクールバスの運行も増える。そういったことも踏まえ今後の交通対策を考えてもらいたい。

答

町長 施政方針にも書いたが、町にはJR鉄道が走り、そのうち4駅を当町に有し、バス会社も2社、タクシー会社も2社、学校統合が進むことによつてスクールバスが町全域を走ることになる。決して恵まれていない地域ではないと捉えている。

これらの業者がうまく連携することによつて、町民がさらに便利に利用しやすくなると考えている。令和4年度に10年後20年後を見据えた地域公



共交通計画を策定する。また、町で運営している福祉バス、外出支援バスの拡充についても検討していく。

公共交通以外にも、交通弱者、体力のない方を助ける方法はあると考えている。色々な意見や議員の皆さんのアイデアをどのように形にし助けていけるか、真剣に取り組んでいく。

また、地域コミュニティのあり方をもう一度見直し、考えとともに、デジタルも活用しながら未来の地域づくりを考えていきたい。
人と人とのつながりを改めて議会やまち、地域住民で言葉を交わせる場を持ちたい。



ほしかわ あきひこ
星河 明彦 議員

施政方針について

- ①アクションプランの提示
- ②デジタル化推進

希望を持って暮らしていける
生きる力を育む町へ

問

①地域公共交通計画、農林福連携から始めるバイオマス産業都市構想など計画の策定を行う案件や既に完成した町国土強靱化地域計画について、アクションプランを提示していただきたい。

②デジタル化推進について、住民の防災や健康管理、独居老人の見守りの町アプリは素晴らしい施策と思う。機能制限したモバイルを無償提供し、事業を開始との事だが、どのように高齢者にレクチャーをしていくのか。

答

町長 ①アクションプランについては、各種計画において国のガイドライン等に基づき基

本目標など含んだ計画を作成した後に、地域の特性を十分に踏まえ、必要となる個別の実施計画を別に定めて、事業を実施する。

また、民間企業との包括連携協定では、目的達成の具体的な計画内容の協議と財政支援を確認した上で、アクションプランに組み込み事業を進めて行きたい。

②デジタル化推進について、デジタル田園都市国家構想推進交付金事業を活用し、事業者と協議調整を図り秋以降に約20回程度の無料講習会を開催する。講習会の内容については、スマートフォン等の基本的な操作からマイナンバーカードの申請や

問

専用サイトの利用方法などを予定している。

①民間企業と包括連携協定を結んで、

事業を進めていくと思うが、民間企業と行政の基本的な考え方、仕事の進め方は違うと思う。アクションプランを示し、いつ、どんなサービスが始まるのかわかるようにしてほしい。

②施政方針の中で、マイナンバーカードはデジタル化の第一歩と捉え、マイナンバーカードを既に持っている方、新規取得した方に1人1万円の商品券を配り普及促進を進めるとしているが、取得したメリットがないと普及は進まないと思う。町独自の取り組みを考え、全国トップクラスでマイナンバーカードの普及推進をお願いしたい。

答

町長 ①町民に提供するサービスがしっかりと形になったところで、アクションプランを示す。

②マイナンバーカードが普及することにより、民間企業の参入も考えられるし、今後、様々な行政手続きがオンライン化される中で本人確認もオンラインで行うことになる。公的な最高位の本人確認ツールであるマイナンバーカードの普及拡大が行政におけるデジタル化のカギを握っていると考える。

来年度コンビニで印鑑証明と住民票を交付できるサービス提供を開始するが、マイナンバーカードを持っている方が、受けられる仕組みである。多くの町民の皆さんにマイナンバーカード持っていたいただきたいの思いから来年度、1人1万円の商品券を配付する事業を展開する決断をした。



おおはがすすむ
大羽賀 進 議員



高齢者支援の拡充について

健康をキーワードに 事業に取り組んでいく

問

少子高齢化、人口減少、避けては通れない問題だが、特に高齢化が進み、高齢者の

方々の不安は、多岐に渡る問題を抱えている。特に生活の糧、年金が少ない、高齢者雇用の環境は整っていないなど生活面に心配が多く見受けられる。高齢者が住み慣れた町で安心して暮らして頂くために生活応援施策に取り組みべきと思うがどうか。

答

町長 町としても、「希望を持つて暮らしていける生きる力を育む町へ」をスローガンに掲げており、高齢化対策についても健康をキーワードに、様々な事業に

取り組んでいく。

問

高齢化社会に移行しつつあり、高齢

社会を支える体制整備を国では全世代型社会保障検討会議を設置し、人生100年時代の到来を見据えながら、高齢者だけではなく、子育て世代、現役世代まで広げて持続可能な改革を検討し方針を決定している。しかしながら、人生100年時代の到来と



いつでも高齢になれば仕事もできない。生活の糧は年金だけとなり、厳しい生活状況に追い込まれる人が多々出てくる。

町は、高冷地の北軽井沢、応桑地区があり、冬の灯油代がかかり、寒くても節約している高齢者家庭があるので、灯油券（商品券）の配布を検討いたいただきたい。

答

町長 高齢者だけではなく、あらゆる世代、例えば子育て世代の中にも大変な人はいる。

新型コロナウイルスの関係の交付金を活用して町民1人に4回4万円分の商品券をお配りした。4回で約2億2千万円の支出である。このように町に継続して支援していく財政力があればよいかもしいれないが、私は老子の言葉のように、「お腹がすいている人には、」魚

を与えるのではなく、魚の釣り方を教える」というような考え方も必要ではないかと思う。

この町ですごく良い動きがあるので紹介させて頂きたい。高齢者ではなく、知的障害者（やまどり）の方々の話だが、数年前までは、部屋の中でお饅頭の箱作り等の作業をしていたが、今は町内の観光事業の企業、ホテルや農家で受け入れてもらい、清掃やキャベツの箱づくりに力を発揮している。市場原理主義、合理主義や生産性だけを考へるような方たちには受け入れられないと思うが、これからは行政だけでなく町にある企業や農家などに力を貸していただきたい、地域や高齢者、さらには子ども達も支えていく必要があると思う。

ここが知りたい！
一般質問



まきやま あきら
牧山 明 議員

バイオマス産業都市構想に食料・エネルギーの自給と素晴らしい環境は未来の子ども達への贈り物だという基本哲学を盛り込むべき

この地域の魅力と町を愛する心を忘れない

問

バイオマス産業都市構想（以下「構想」という。）について、いよいよ構想を仕上げる段階に入る。この構想は町づくりの基本になると考えるので、その根幹に食糧とエネルギーの自給という考えを盛り込んでいただきたい。

答

町長 町内のバイオマス資源は、農業系と木質系において高いポテンシャルがあり、これらを最大限の活用で好循環を生み出す事により、SDGsや脱炭素社会の推進に大きく貢献する。

この構想策定の根底には自然環境が適切に保全される事で、次世代に守



問

好循環という考え方は大事だが、それ以前に町が自立していくという考えを持って戴きたい。ダムが完成し、この先発展していくためには、町の取り組みが将来の子ども達のためであるという理念だと考えている。

また、構想計画を立てる以上、町が事業主体として省エネ、再エネ、新エネルギーに取り組むための施設を建設し、町民に利益が行き渡る仕組み作りをしてもらいたい。民間企業と協力して、民間に任せている以上は限界があり、町がやらないといけないところがあると思う。そこを町長3期目に他力本願ではなく自力でやるところを見せていただきたい。

答

町長 施政方針で示した8つの目標を乗り越え「生きる力を

育む町」を作り、「私たちはこの地域の魅力と町を愛する心を忘れない」という宣言とともに、畜産業、耕種農業、林業等の第一次産業を守っていききたい。

また、発電所など町が主体になって運営をしていく施設建設等は今現在考えていない。北軽井沢にあるバイオガス発電施設の電気をおよそ700世帯分の電気を発電すると聞いている。例えばそれを災害時だけでなく、平常時も使用できるようなオフグリッドのシステムを構築できれば、まさに電力を地産地消する町となり、素晴らしいと思う。

国や県の支援を頂き長期的に考えていきたい。この構想は町の資源や環境を最大限に利用して好循環を生むのが目的であり、スタートしたばかりなので、様子を見ていただきたい。

国県道改良等促進特別委員会

令和4年1月18日、国県道改良等促進特別委員会による町内道路整備事業（県事業）現地視察を実施しました。

今回の調査では中之条土木事務所長野原事業所長の案内で、県道嬭恋応桑線小宿橋工区の現地視察を行い、進捗状況などを確認しました。



浅沼議員



黒岩議長

群馬県町村議会議長会表彰を受賞

令和4年2月17日、群馬県町村議会議長会総会にて一般表彰（議長、副議長4年以上在職者）が行われ、本町議会より黒岩議長と浅沼議員が表彰されました。大変おめでとうございます。

● 議会の主な活動 ●

1月		2月		3月	
	群馬県議会新春交流会	2日	議会運営委員会	2日	全員協議会
5日	上毛新聞社新年交歓会		へき地診療所運営協議会（書面開催）		3月議会定例会1日目
	吾妻郡賀詞交換会	8日	国民健康保険運営協議会（書面開催）	9日	3月議会定例会2日目
6日	長野原町消防団出初め式		ハッ場ダム水源地域ビジョン協議会（書面開催）	16日	3月議会定例会3日目
	長野原町新年交歓会	9日	優良農業後継者表彰式		環境衛生施設組合議会
9日	成人式	10日	全員協議会	17日	衛生施設組合議会
18日	国県道改良等促進特別委員会		2月議会臨時会		西吾妻福祉病院組合議会
20日	小口資金等融資審査会	15日	群馬県町村議会議長会定期総会（オンライン）	18日	社会福祉協議会理事会
		17日	議会運営委員会	25日	令和4年吾妻広域町村圏振興整備組合議会第1回定例会（2日目）
		22日	令和4年吾妻広域町村圏振興整備組合議会第1回定例会（1日目）		



編集後記

春の香りに心躍る季節となりました。
 入園、入学など新しい生活が始まり期待に胸が膨らみます。
 3月定例会では令和4年度の町長施政方針が提出され、「繋ぐ」「育てる」を最大のテーマとし、8つの目標が掲げられました。
 8つ目の目標には、「希望を持って暮らしていける地域づくり」とあります。
 コロナ感染症、ウクライナ侵攻など社会情勢が大きく変化する中ですが、だからこそ未来に希望を持ち続けたいと願うのは私だけでしょうか？
 不安に負けず、希望ある未来のために議会一同、本年度も決意をもって邁進していく所存です。

(HK)

◎広報委員

委員長 大羽賀進
 委員 牧山 明
 萩原 宗仁
 梶野 寛丈